



有家中だより No7

令和7年 9月26日
南島原市立有家中学校
校長 本多 洋二

2学期のスタートから1か月経過！

2学期がスタートし1か月が経とうとしています。生徒たちは、落ち着いた学校生活を送っています。10月2日に開催される南島原市中総体駅伝競走に向けて、放課後、練習を頑張っています。1キロのタイムレースや2キロのトレーニングなど、きつい練習に取り組んでいます。「きつー、あつー」と生徒たちは口にしながらも精一杯練習に励んでいます。見ていてだけで感動です。特にうれしいのは「あと少しペースを上げて！頑張れ！残り1周！」と共に練習している仲間の掛け声、応援の声です。お互いが仲間として、声援するその姿に、「いいなあ〜」と感じています。他にも、10月に行われる合唱コンクールへ向けての練習に熱が入りつつあります。保護者の皆さんも楽しみにしてください。

<駅伝大会>:

期日：10月2日（木）

場所：トランスコスモススタジアム長崎（諫早市）

女子スタート：10時30分

男子スタート：12時00分

<合唱コンクール>

期日：10月24日（金）

場所：有家中学校体育館

時間：13時35分スタート、プログラム順

- ①1年1・5組 ②2年2組 ③2年1・5組
- ④1年3組 ⑤1年2・4組 ⑥3年1・5組
- ⑦3年2・4組

15時00分：吹奏楽部演奏

15時10分：審査員による演奏

15時15分：3年生全員合唱

※ 10月21日（火）までに、9月16日に配付した案内状に二次元コードを載せていますので、参加の有無についてお知らせください。

校則検討委員会開催！

去る9月11日（木）、17:00から本校会議室で、PTA本部役員と校長、教頭、生徒会担当職員、生徒指導担当職員並びに生徒会役員が一堂に会し、校則検討委員会を開催しました。検討委員会では、生徒総会で要望や意見がでた次の4項目を検討しました。

- ①お団子ヘアを許可してほしい。
- ②ツーブロックヘアを認めてほしい。
- ③学生カバンを自由化してほしい。
- ④猛暑の時、ポロシャツを許可してほしい。

この4項目を検討する中で、PTAの方々や本校職員から、おしゃれを気にしすぎたり、授業に遅れたりするのではないか、など色々な意見が出ました。しかし、生徒会長をはじめとする生徒会役員から、根拠を示しながら話したり、おしゃれに、はしらないように対策を講じる、易きに流れないようにルール作りを行うなど、自分たちの学校を自分たちで良くしていき、生徒がつくる有家中学校でありたいという意見もでたりしました。結果として、全項目とも賛成多数となり、職員会議において、その是非について検討することになりました。

なお、②のツーブロックヘアについては爽やかな髪形が前提であり、結果としてツーブロックのような髪型になることを認める。モヒカンみたいな極端な刈り上げは認めない。と検討委員会では条件付き許可となりました。



職場体験学習終わる！

今年度は、職場体験学習を、2年生と3年生で実施しました。2年生は7月、3年生は、9月に実施しました。2・3年生共に20か所以上の事業所にお越し、実際に働くという体験を通して学びを深める、大変貴重な体験でした。事業所の方々からは、大変よく頑張っていましたというお褒めの言葉をいただきました。



10月・11月の主な行事

<10月>

- 2日(木) 市中総体駅伝大会(諫早市)
- 6日(月) 全校集会(伝達表彰)
- 8日(水)～9日(木) 実力テスト(3年)
- 10日(金) 進路説明会(3年)
- 16日(木)・20日(月) 歌声交換会(各学年・縦割)
- 24日(金) 合唱コンクール**
- 29日(水)・30日(木) 命の学習(3年)
- 30日(木) 生徒集会

<11月>

- 4日(火)～11日(火) 3年三者面談
- 11日(火)～13日(木) 2年修学旅行
- 27日(木) 薬物乱用防止教室(2年)

ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

『人は、考え方で変わる。』

物事は考え方一つでプラスにもマイナスにもなります。コップに半分入った水を「半分しか入ってない」と考えるか「半分も入っている」と考えるかは本人の捉え方。ここでは、クレームをプラスに捉えて対応するホテルのマネージャーの話を紹介します。

クレームが入り、お客の部屋に足を運ぶと開口一番、ほぼ同様のことを言われる。「社長を呼んでこい」「総支配人を呼べ」と。社長や総支配人がホテル内にいたとしても簡単に取り次ぐわけにはいかない。

「社長も総支配人も、あいにく不在です」「私が総支配人代行です。代わりに話をうかがいます」それでも、クレーム客は引き下がらない。「一番偉い人を呼べ。そう言ったはずだ」そう言われたら、直立不動のままマネージャーは、「〇〇さま、今夜はこのホテルのなかで私が一番上になります。総支配人代行です。ホテル内すべての責任は私がとります。じっくりお話を聞きます。明るくなりましたら上の者がまいりますのですぐ報告します。なんなりとお申し付けください」そして、とことん聞くそうです。「バスルームに髪の毛が落ちていた。どうなってる!」「俺の荷物を少し動かしたんじゃないか。」など、ほとんどがささいなクレーム。3分、5分、10分で済まないことも多い。「そこに座れ!」と指示され、30分や1時間もの間、言わば説教を受け、誠意を見せろと言われ続けるのだそうです。

誠意と聞くと何かサービスをするのかなと考えがちだが、マネージャーが示す「誠意」とは、その場で相手の話を聞き続けることだと言うのです。1時間半でも2時間でも延々と相手の顔を見て、聞き、答える。すると、ほぼ全員、少なくとも9割以上の方が最後には気持ちが静まり、「かえって済まなかったな」と謝ってくれるというのです。さらにマネージャーは続ける。「〇〇さまのように教えてくださる方のおかげで私たちも成長できるのです。〇〇さまの(クレームの)のおかげで成長できるのです。〇〇さま、ありがとうございます」クレームに対してお礼を述べるマネージャー。人は考え方一つでどうにでも変わる気がします。